

# さくらぐみ 1、2、3、4 年 道徳学習指導案

2025年2月8日土曜日 2校時

町田市立小山小学校

指導者 T1 長坂 智恵子

T2 岩原 淳浩

- 1 ねらい 約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にしようとする態度を育てる。  
「規則の尊重」(学習指導要領の内容 (C-10))
- 2 教材名 「きいろい ベンチ」  
(出典 東京書籍「あたらしいどうとく」第2学年)
- 3 展 開

	学習活動 (主な発問と予想される児童の反応)	○指導上の留意点 ☆・・・評価
導 入	1 「みんなが使うものや場所をどんな気持ちで使っていますか。」	○ 思い出しやすいように、写真や絵を提示して、公共物の具体的なイメージがもてるようにする。
展 開	2 資料「きいろい ベンチ」を読んで話し合う。 ①ベンチの上から何度も何度も紙飛行機を飛ばしてあそんでいるたかしとてつおは、どんな気持ちだったでしょう。 ・楽しい。おもしろい。 ・もっと高く、遠くまで飛ばそう。 ・競争しよう。 ②女の子はベンチに腰かけて、どんな気持ちになったでしょう。 ・スカートが汚れて悲しい。 ・どうして泥がついているのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">③どんなことを考えて、たかしとてつおは「はっ」としたのでしょうか。てつおになって言ってみましょう。</div> ・悪いことをしてしまった。謝ろう。 ・怒られるから、知らないふりをしよう。 ・みんなが使うものなのに汚してしまった。 3 自分の生活を振り返る。 ①みんなが使うものや場所を大切にできたことはありますか。 ・教室をきれいにしている。 ・遠足でゴミを拾った。	○場面絵を使いながら、場面の様子や二人の行動を整理して発問する。 ○登場する二人の動きを実際に動作化しながら考えられるようにする。 ○遊びに夢中になってしまい、他の人の迷惑になることを考えていない二人の気持ちを考えさせる。 ○スカートの泥を払うおばあさんの絵を示し、おばあさんの気持ちにも触れる。 ○場面絵を示し、たかしとてつおが顔を見合わせていることに触れてから発問する。 ○役割演技をすることで二人の心の動きを考え、表現しやすくする。 ○教員がたかしになり、問いかけながら考えを深められるようにする ☆みんなが使うものや場所を大切にするよさを、様々なひととの関わりから考えられている。
終 末	4 教師の話聞く。	○授業をとおして振り返り、約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にしようとする心情を深める。

※本時は学年の児童の実態に基づき設定されました。

授業内容やねらいとされることについて、ぜひご家庭でも話をする機会を設けていただければと思います。よろしくお願いします。